

第二回 堅磐事業検討委員会

議事概要

(1) 日時 平成 23 年 10 月 11 日 (火) 10:00～11:35

(2) 会場 常陸河川国道事務所 G 会議室

(3) 出席者:出席者名簿のとおり【資料:出席者名簿】

(4) 議事概要

①委員の交代、出席者の確認【資料:委員会規約、出席者名簿】

- 事務局より、茨城県水産試験場内水面支場長の人事異動に伴い太田委員への交代について報告。
- 太田委員と小菅委員が欠席し、7名の委員の内5名の出席により委員会規約第3条第2項の規定により委員会が成立していることを報告。

②第一回堅磐事業検討委員会議事概要について【資料-1】

- 事務局より資料-1に基づき第1回堅磐事業検討委員会議事概要について説明。
- 審議結果
 - 第1回堅磐事業検討委員会議事概要について了承された。

③堅磐地区河道掘削工事の経過について【資料-2】

- 事務局より資料-2に基づき堅磐地区河道掘削工事の経過について説明。
- 審議結果
 - H22年度堅磐地区河道掘削工事の経過について了承された。
 - 委員からの主な意見、質問等とその回答は以下のとおり。
 - ◆ 質問: H22年度 B 工事範囲内での掘削土量はいくらか。
 - 回答: B 工事として約 1.5 万 m³、別途工事として 0.5 万 m³、併せて 2 万 m³を掘削しています。資料は、工事単位で掘削量を整理しています。

④サギ類モニタリング調査結果について【資料-3】

- 事務局より資料-3に基づきサギ類モニタリング調査結果について説明。
- 審議結果
 - H22年度のサギ類モニタリング調査結果について了承された。
 - 委員からの主な意見、質問等とその回答は以下のとおり。
 - ◆ 意見: 堅磐地区に飛来したサギ類は例年通り繁殖し、工事によってサギ類の行動や繁殖に影響は認められなかった。
 - ◆ 意見: 工事実施中のコロニーと工事箇所の距離について明確にすること。
 - ◆ 意見: 猛禽類の繁殖行動として巣材運びを繁殖行動として捉えることが多いため、サギ類の繁殖行動として、巣材運びなども含めた広義の行動を注意深くモニタリングする必要がある。

⑤H23 堅磐地区河道掘削工事について【資料-4】

- 事務局より資料-4 に基づき H23 年度堅磐地区河道掘削工事について説明。
- 審議結果
 - H23 工事について了承された。
 - 委員からの主な意見、質問等とその回答は以下のとおり。
 - ◆ 質問：H23 年度の追加工事の予定はあるのか。
 - 回答：現在のところ予定はないが、行う場合は各委員の意見を伺います。
 - ◆ 意見：H22 年度工事箇所を計画掘削高まで掘り、ワンド・干潟のような形状にしてはどうか。
 - 回答：作業効率や掘削土の土質性状から途中の高さで止めています。
 - ◆ 質問：H23 年度工事のダンプ運搬路は H22 と同一箇所を利用するのか。
 - 回答：H23 年度工事では常磐自動車道付近から入り、上流へ抜けるルートを検討しています。
 - ◆ 要望：クラクションなどの音を出さないように指導できないか。
 - 回答：安全対策上やむを得ない場合もあるため、了承願います。

⑥今後のモニタリング計画について【資料-5】

- 事務局より資料-5 に基づき今後のモニタリング計画について説明。
- 審議結果
 - 今後のモニタリング計画について了承された。
 - 委員からの主な意見、質問等とその回答は以下のとおり。
 - ◆ 意見：工事中のモニタリングにより影響が認められる場合は、事前に検討した対策をして欲しい。
 - 対応：委員に相談しながら工事を進めます。

⑦その他

- 次回の委員会は、来年 10 月頃に開催予定。

以上